

## Part 1 基本情報

## 1. セルビアプロフィール

- (1) 正式名称 (和文)セルビア共和国  
(英文) Republic of Serbia
- (2) 政体 共和制
- (3) 首都 ベオグラード
- (4) 面積 7万7千74km<sup>2</sup>
- (5) 人口 735万人
- (6) 民族 セルビア人(83%)、ハンガリー人(3%)、その他:アルバニア人、クロアチア人、ボスニャック人(ボスニア・ヘルツェゴヴィナのイスラム教徒)、モンテネグロ人
- (7) 言語 公用語はセルビア語、ただしボイボディナ自治州では、その他にクロアチア語、ハンガリー語、スロヴァキア語、ルーマニア語、パンノニア・ルシン語も公用語。
- (8) 宗教 キリスト教(8割がセルビア正教、残りはローマ・カトリック)、イスラム教、ユダヤ教。
- (9) 略史  
6, 7世紀以降 スラブ系民族がバルカン半島に定住  
11世紀 セルビア王国建国  
1389年 コソボの戦いでオスマン・トルコに敗退し、以後約500年、トルコの支配下  
1878年 ベルリン条約によりセルビア王国の独立承認  
1918年 セルビア人・クロアチア人・スロヴェニア人王国、後のユーゴスラビア王国  
1941年 第二次世界大戦中、ナチス・ドイツによる占領。ユーゴスラビア王国の消滅  
1944年 ユーゴスラビア社会主義連邦共和国の1共和国となる  
1992年 ユーゴスラビア社会主義連邦共和国の解体。モンテネグロとともにユーゴスラビア連邦共和国を樹立  
1999年 コソボのアルバニア人問題で国際社会から非難。NATOによる空爆、コソボが国連の暫定行政下に置かれる  
2003年 セルビア・モンテネグロ国へ国名変更  
2006年 モンテネグロの独立により、セルビア共和国へ移行  
2008年 コソボがセルビア共和国からの独立を宣言(日本政府はコソボ共和国を承認)
- (10) 在留日本人 86人
- (11) 気候 温暖な大陸性気候に属し、四季がある。夏は連日30度を越え、冬は場所によるがおおむね降雪量が多く、気温が零下になることもしばしばある。首都のベオグラードは、ドナウ川とサヴァ川の合流点に位置するため、特に10月半ばから11月半ばにかけて濃霧が発生し、しばしば航空便の遅延、欠航がみられる。

出典: 日本国外務省ホームページ、セルビア共和国ボイボディナ自治州データ

## 2. 業務のための基礎データ

### (1) JICA事務所の概要

名称 : JICAバルカン事務所  
 住所 : Business Centre USCE 17th Floor, Bulevar Mihajla Pupina 6, 11070, Novi  
 Beograd, Republic of Serbia  
 郵便物宛先 : JICA Balkan Office(住所同上)  
 連絡先 : 国番号 : 381  
 地域番号 : 011  
 電話 : 2200-750  
 FAX : 2200-761  
 URL : <http://www.jica.go.jp/balkan/index.html>  
 E-mail : bk\_oso\_rep@jica.go.jp

#### 緊急連絡先電話番号

- ・日本大使館 : +381 - (0)11-301-2800
- ・警察 : 92、消防 : 93、救急車 : 94

執務時間 : 8:30 ~ 17:00 (昼休み12:30 ~ 13:30)

休日 : 2011年 休日予定(以下と土曜日、日曜日)

1月1日	元旦
1月3日	行政機関の休日
1月7日	正教クリスマス
2月11日	建国記念の日
2月15日	(セルビア国) 建国記念日
3月21日	春分の日
4月22日	復活祭の聖金曜日
4月25日	復活祭の聖月曜日
5月2日	メーデー
5月3日	憲法記念日
7月18日	海の日
9月23日	秋分の日
10月10日	体育の日
11月3日	文化の日
11月23日	勤労感謝の日
12月23日	天皇誕生日
12月29日	行政機関の休日
12月30日	行政機関の休日

事務所までの交通：

【空港から】

地下1階の到着ロビーで客引きを行っているのは全て白タク。地上階に上がると、メーターの通常のタクシーが停車しておりおおむね800から1200ディナール(約9ユーロから13ユーロ)程度。また、ベオグラード市バス(72系統)が5:20~24:00の間は毎30分ごとに旧市街付近のゼレナ・ベナツまで出ている。乗車したバスの中で100ディナール支払う。

【空港以外から】

JICAバルカン事務所は新市街(Novi Beograd, ノヴィベオグラード)に位置している。官公庁のある旧市街からの公共交通機関でのアクセスはバス、トラムに限られるのでタクシーの利用を奨める。旧市街からであれば料金はおおむね300ディナール(約3ユーロ)程度。

## (2) JICA事務所周辺地図



- (3) 日本との時差、サマータイム  
 日本との時差：日本よりマイナス8時間。サマータイム適用時はマイナス7時間となる。  
 サマータイム：3月の最終日曜日から10月の最終日曜日まで。

- (4) 祝日、官公庁  
 祝日：1月1日 元旦  
 1月2日 新年の祝日  
 1月7日 クリスマス  
 2月15日 建国記念日

3月4月 復活祭の聖金曜日

3月4月 復活祭の月曜日

5月1日 メーデー

その他、イスラム教徒、セルビア正教徒、ユダヤ教徒、ローマ・カトリック教徒の宗教別の祭日もあり、個人の信教によって適時休みを取っている。

官公庁の休日：上記祝日と土曜日、日曜日

- (5) ビジネスアワー
- 官庁 8:00～16:30(土曜、日曜日休み、昼食休憩は基本的にはない。執務時間中、適宜軽食を取る。通常の昼食は執務時間後)
- 銀行 8:00～16:00(土曜日も午後まで開いているところもある。ショッピングモールなどでは日曜日でも営業しているところもある。市内には多数ATM機が設置されている。)
- 商店 店によるが、たいてい夜8時くらいまで営業。(日曜日は休業のところが多い。事務所隣接のショッピングセンターは日曜日でも夜10時まで開いている。レストランはおおむね営業している。)
- (6) 言語
- 業務：ベオグラード市内では、大抵の場合、英語が通用するが、地方に行く場合は、通訳備上が望ましい。
- ホテル、買い物、食事：ベオグラード市内であれば英語で概ねことが足りる。国内でドイツ語を話す人も多い。
- (7) 通貨
- 現地通貨単位：ディナール(RSD)
- (8) 通貨レート
- 1 RSD = 1.15 円(JPY) (2011年8月現在)
- 1 Euro (EUR) = 104.9(RSD)
- 最新の為替レートは、以下のサイトなどで確認のこと。  
<http://www.iccfx.com/>
- (9) 関係機関
- 【在外日本関係機関】
- 在セルビア共和国日本国大使館
- 住所：Geneks Apartmani, Vladimira Popovica 6.
- 電話：(011)-3012-800
- (10) 有用サイト
- <http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/index.html> (外務省「各国・地域情報」)
- <http://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/index.html> (外務省「渡航関連情報」)
- <http://www.yu.emb-japan.go.jp> (在セルビア共和国日本国大使館)
- <http://www.serbianembassy.jp> (駐日セルビア共和国大使館)
- <http://jp.serbia.travel> (セルビア観光局)

## Part 2 生活情報

「生活情報」は特に記載のない限りJICA事務所周辺の情報を中心に掲載しています。

## 1. ホテル、住宅



## 1-1 ホテル

ベオグラードの中心地であるテラジエ通り沿いにホテルが何軒かある。また、ノヴィ・ベオグラードにもJICAバルカン事務所、日本国大使館の徒歩圏内に数軒のホテルがある。概してベオグラード市内には数多くのホテルがあり、英語が通じ、主なクレジットカードによる支払いも可能である。また、インターネットへの接続環境も整っている。アパートメントホテルも数多くあり、ホテルに比べると部屋も大きく、寝室から独立している台所には最小限の調理器具や食器が備わっており、インターネットへの接続環境も整っているため、長期滞在向けに住居を探すとき等、一時的に利用するのも良い。主なホテルは以下のとおり。

## ・Hotel Balkan

住所： Prizrenska 2, Beograd

電話： (011)-3636-000

Fax： (011)-2687-581

ウェブサイト： [www.balkanhotel.net](http://www.balkanhotel.net)

支払い： 現金、主要なクレジットカード

インターネットアクセス： ケーブル接続、ワイヤレス



## ・Hotel Majestic

住所： Obilicev Venac 28, Beograd

電話： (011) 3285 777

Fax： (011)-3284-995

ウェブサイト： [www.majestic.rs](http://www.majestic.rs)

支払い： 現金、主要なクレジットカード

インターネットアクセス： ケーブル接続、ワイヤレス



## 1-2 住宅事情

一人暮らしから家族用と住居の選択肢は幅広くあり、一年中空き物件を探しやすい。ベオグラード市内には一軒屋よりも、集合住宅が多い。

## 1-3 住宅の探し方

基本的に不動産会社を通して探すのが一般的。現地の新聞の広告欄にも物件情報は挙がっているが、大家とのコミュニケーションの問題などもあるため、英語の通じる不動産会社を通した方が良い。ベオグラード市内の不動産会社は、どこでも概ね英語が通じ、外国人への対応も慣れている。

・Danos(ダノス)

住所: Vladmira Popovica 6  
 電話: (011)-2600-603  
 Fax: (011)-2601-571  
 ウェブサイト: [www.danosresidential.rs](http://www.danosresidential.rs)  
 営業時間: 月 - 金 9:00 ~ 17:00

・Colliers International(コリエル インターナショナル)

住所: Bul Mihajla Pupina 115 D  
 電話: (011)-3139-955  
 Fax: (011)-3139-958  
 ウェブサイト: [www.colliers.rs](http://www.colliers.rs)  
 営業時間: 月 - 金 9:00 ~ 17:00

・Beorent(ベオレント)

住所: Santiceva 11  
 電話: (065)-832-3751  
 Fax: (011)-3391-834  
 ウェブサイト: [www.beorent.com](http://www.beorent.com)  
 営業時間: 月 - 金 10:00 ~ 17:00

#### 1-4 住宅選定上の留意点

ベオグラード市内では、一般的に外国人は町の中心部である「スタリ・グレード」地区や、緑が多い住宅街で複数のインターナショナル・スクールがある「セニャック」、「デディニェ」地区に多く居住している。これらの地域は他の地域に比べ家賃はやや割高になるもの、町の中心部であったり、インターナショナル・スクールに近かったりするなど利点も有る。集合住宅に住む場合、各建物の入り口は通常鍵がかけられているが、機能していない場合もあるので、下見を行う時に確認が必要。中には常駐の管理人がいる建物もある。また、下見を行うときには洗面所、浴室、台所の水周りも確かめると良い。

#### 1-5 住宅の契約

通常、不動産会社を通した場合、紹介手数料として家賃の1か月分を支払う。また、家主には家賃の1か月分をデポジットとして支払う。このデポジットは、退去するときに返却されるが、退去時に室内が汚れていたり、室内の備品が壊れていたりする場合などはデポジットより清掃代、修理代を引かれる。また、既に備品や家具などで壊れている箇所があったら、契約前に指摘し、対処方法を決める。電熱費、水道費、電話代などは概ね家賃に組み込まれており家主が支払うが、違う場合もあるので、それら生活を営む上で必要な経費を誰が支払うのかも話し合いの上、決定すること。契約期間中、引越しをしなければならない状況になっ

た場合は、退去希望日の30日前に家主に不動産会社経由、もしくは直接伝える。家賃の支払方法はまちまちで、月払いもしくは3ヶ月払い、半年払いなど様々であるが、契約交渉時にこの点もきちんと協議すること。

なお、セルビア国の外国人出入国法に基づき、入居後24時間以内に家主とともにパスポートを持参のうえ、所轄の警察署へ持参し、外国人住居登録を行う必要がある。

## 1-6 ガス、水道などの手続きと管理

契約時に確認をする必要があるが、通常、入居日にガス、水道、電気、電話、TVなど使用できるように家主の方で管理をしてくれる。

ゴミに関しては、建物の共同のゴミ捨て場に捨てるか、無い場合は建物付近のゴミコンテナまで持参して捨てる。特に分別収集は行われていない。

## 1-7 家電

### (1) 電圧

220V。日本製品に対応する変圧器は入手しづらいので、日本から持参することを勧める。なお、日本製品で220Vに対応する機材にもプラグ部分に欧州型のC型またはSE型のアダプタ、もしくはマルチのアダプタをとりつける必要がある。

### (2) コンセント・モジュージャックの形

まれに、欧州型三本足プラグ用の三穴コンセントも見かけるが、一般的には欧州型のC型に対応する二穴のものが主流。モジュージャックの形は日本のものと同じ。



コンセント



プラグ



モジュラー

### (3) 家電製品

基本的に家事に必要なものは現地で購入することが出来る。種類も豊富にあり、日本メーカーの製品も手に入る。値段も日本とほぼ変わらない。パソコンも現地で購入可能。

## 1-8 家具保険

家具のみの保険は無く、複数の外資系保険会社で扱っている住宅保険の一部として扱われている。また家具付住居を借りる際には大家が関連保険を掛けているが、万一の事を考え保険加入の有無を確認すること。

- ・UNIQA(ユニカ)  
ウェブサイト: [www.uniqa.rs](http://www.uniqa.rs)
- ・DUNAV(ドゥナウ)  
ウェブサイト: [www.dunav.com](http://www.dunav.com)
- ・DELTA(デルタ)  
ウェブサイト: [www.deltagenerali.rs](http://www.deltagenerali.rs)

## 1-9 その他

特になし

## 2. 衣料、理容



### 2-1 衣料全般

#### (1) 一般事情

基本的に日本の四季の衣料で対応することが出来る。必要に応じて現地で購入することもできるが、日本人の体系に合うサイズのもものが必ずあるとは限らず、概して大きめである。日本のように四季があり、特に冬は氷点下10度前後になることもあるので防寒服が必要。一方、事務所内など、室内では冬の間も暖房が良く入る環境にあることに留意する。

#### (2) 日本から持参したほうがよい衣料

日本人の体系に合うサイズのワイシャツや既製のスーツなどは入手が困難である。また防寒用の下着などは日本製のものの方が良質。また女性の靴やブーツで23cm以下のものは入手しづらい。

#### (3) 現地で調達したほうがよい衣料

帽子やマフラー、手袋など様々な質と種類のもものが豊富に販売されている。

#### (4) その他の留意点

セール品などを除いて、通常衣料を購入した後も領収書と共に返品に応じてもらえるが、購入前には必ず試着する事を勧める。

### 2-2 礼装

#### (1) パーティー

内輪のものから公式なものまで様々ある。その都度、常識の範囲内の装いで参加する。なお、公式なものにはドレスコードが指定されていることが多いので、招待状に記載されていない場合は主催者側にあらかじめ尋ねることを勧める。

#### (2) 式典

常識の範囲内の礼装。スーツが一般的。

#### (3) 冠婚葬祭

結婚式に白のドレスで参加するのはタブー視される傾向にある。葬式には濃

い色目の服装での出席が望ましい。基本的に仕事の付き合いでの冠婚葬祭はスーツで出席することが望ましい。

#### (4) その他の留意点

冠婚葬祭用に通年使用できるスーツを一着、必ず持参する事を勧める。

### 2-3 洗濯、仕立て、修繕、保管

#### (1) 洗濯

ホテルなどでも洗濯サービスを受けられる他、ベオグラード市内にはドライクリーニング店が数多くある。ただし、ドライクリーニングの質は日本に比べると良くないので、和服や絹生地の洋服を出すことは避けた方が良い。

ドラム式の洗濯機が一般的に広く普及しており、乾燥機も普及している。通常住居を借りるときにアイロン、アイロン台とも既に設置されている。

#### (2) 仕立て、修繕

「クロヤーチャ」、「シュナイデリツァ」と呼ばれる仕立て店が数多くある。概して英語でのコミュニケーションが難しい場合が多いので、要望を詳しく図に描き、それと共に来店すること。

#### (3) 保管

自宅保管。クローゼット用の防虫剤などは市販されている。

### 2-4 美容院、理髪店

美容院も理髪店も数多くある。ホテルによっては、ホテルの中に併設されている。理髪師とは簡単な英語でのコミュニケーションは図れるが、好みのヘアスタイルがある場合は、写真などを持参し説明をした方がよりよい。

## 3. チップ



### 3-1 チップ事情

#### (1) 習慣の有無

習慣ではないが、快いサービスを受けたときなどに心もち渡すとお互い気持ちが良い。

#### (2) 各種サービスに対するチップ

ホテルでは、枕銭の習慣がない。タクシー代、飲食代などは端数を切り上げてチップ代金込みで支払うとスマートであるが、習慣にはないのであくまでも気持ちの良いサービスを受けた時のみで良い。一般的にレストランでのチップの支払いは、支払金の5～10%程をチップとして支払い時に渡す。

チップではないが、お店の支払い時に1ディナール(約1円)程足りないときは、払わなくて良いといわれるケースがある。また逆に相手に釣銭が不足している場合は、1ディナール(約1円)程返されないときもある。

## 4. 食生活



### 4-1 外食

#### (1) 一般事情

ホテルやレストランなどで配布されている地図付きの無料のタウン情報誌には、セルビア伝統料理店をはじめ多国籍料理店の紹介がされている。数多くあるカフェでは、サンドイッチやピザなどの軽食をとれるところもある。また、マクドナルドやケンタッキー・フライド・チキン、ピザ・ハットといった外資系のファーストフード店や現地のハンバーガー店、ピザ店なども豊富。

#### (2) 飲食店

数多くある。以下、ベオグラード市内中心部にあるレストランの一部を紹介する。

##### < セルビア伝統料理 >

##### ・Vuk (ヴク)

住所: Vuka Karadžića 12.

電話: (011)-2629-761

##### ・? (ズナーク ピータニエ)

住所: Kralja Petra 6.

電話: (011)-2635-421

##### ・Kalemegdanska Terasa (カレメグダンスカ テラサ)

住所: Mali Kalemegdan.b.b. カレメグダン公園内

電話: (011)-3282-727

##### ・Šešir moj(シェシール モイ)

住所: Skadarska 21.

電話: (011)-3228-750

##### ・Dva Jelena (ドゥヴァ イエレナ)

住所: Skadarska 32.

電話: (011)-3234-885

##### ・Madera (マデーラ)

住所: Bulevar Kralja Aleksandra 43.

電話: (011)-3231-332

##### < 日本料理 >

##### ・IKKI BAR (イッキ パール)

住所: Gospodar Jovanova 46.

電話: (011)-2184-183

##### < 中華料理 >

##### ・PEKING (北京飯店)

住所: Vuka Karadžića 2.

電話: (011)-2181-931

##### ・QUAN JU DE (クアン ジュ デ)

住所: Vaše Pelagića (Senjak)

電話：(011)-3691-241

<イタリア料理>

・Casa Nova (カサ ノヴァ)

住所：Gospodar Jovanova 42A.

電話：(011)-3036-867

・Košava (コシャヴァ)

住所：Kralja Petra 44.

電話：(011)-2627-344

<インド料理>

・Indian Palace (インディアン パラス)

住所：Ljubicka 1b.

電話：(011)-3446-235

## 4-2 食料

### (1) 一般事情

セルビアは農業畜産国でもあり、輸入食料も豊富に流通していることから基本的な食料品は容易に入手することが出来る。ただし、国産の牛乳、小麦粉、油、砂糖といった統制価格で販売されている国産の食料品は政府の政策により購買数に限度がかかる時もあるので留意する必要がある。購買数に限度があるときでも、外国産のもので補うことは可能。

### (2) 主な食品の出回り状況

#### <野菜>

ピヤッツァと呼ばれている市場で出回っている野菜の方が、スーパーマーケットより鮮度は良い。ただし、野菜によっては大量購入で販売している大型スーパーマーケットの方が割安で購入できる。

#### <魚介類>

海水魚、淡水魚、海老、貝類は種類も豊富に出回っている。先述したピヤッツァで魚介類を販売している店では、さばいたり、焼いたり、揚げたりと簡単な調理もしてくれる。冷凍製品も種類も豊富に出回っている。ただしセルビアには海がなく、淡水魚を除いては輸入品となるため割高である。

#### <果物>

日本のように四季があるため、年間を通して四季折々の果物が入手可能。また、ギリシャ、トルコ、イタリアなどから輸入果物も豊富に入ってきている。秋になると、柿や梨なども店頭に並び、柿は「カキ」、また「ヤパンスカ・ヤブカ(日本の林檎)」、梨は西洋梨と区別されるべく、「ナシ」と日本語のとおりと呼ばれ販売されている。

#### <米>

イタリア、マケドニア、エジプトからの輸入米が一般的なスーパーマーケットで入手可能。その他、健康食品店や大型スーパーマーケットのアジア食材コーナーでは、タイ米なども入手することが可能である。

## &lt; 飲料水 &gt;

基本的に水道水の飲用は可能。しかし、古い建物では未だに鉛で作られた水道管を使用しているところもあるので、長期的に水道水を飲用することは勧めない。スーパーマーケットや売店でペットボトルに入ったミネラル・ウォーター（硬水）が売られている。家庭用には6Lサイズのミネラル・ウォーターもスーパーマーケットで販売されている。また、炭酸入りのミネラル・ウォーターも売られており、ペットボトルのラベルにキセラ・ヴォダ(Kisela Voda)とセルビア語で書かれているものは炭酸入り。判らない場合は、水の入ったボトルを少し振ってみて泡が出るか確認すると良い。セルビア国産のほか、クロアチア産やフランス産のミネラル・ウォーターも種類が豊富に販売されているが、いずれも硬水。

## &lt; その他 &gt;

ベオグラード市内には、健康食品店が多くある。またスーパーマーケットなどでも健康食品コーナーがあり、日本の値段に比べると割高であるが、醤油、味噌、豆腐、海草類、梅干、そば、うどんなど購入することは可能。また、ノヴィ・ベオグラード市で中国人が多く居るブロック70のマーケットでは白菜、大根、チンゲン菜、ピーマン、米粉、うどんなど購入できる。白菜、大根は大手スーパーマーケットのIDEAやMERCATORなどでも購入することは可能。

## (3) 食料の入手

市場では食品のほか、日用雑貨が入手できる。販売時間は、場所により若干ずれがあるが、基本的に朝8時から夕方3時頃まで、年中無休である。小規模なスーパーマーケットはベオグラード市内いたるところにあり、中には24時間のところもあるためコンビニ感覚で利用できる。大型スーパーマーケットも市内に点在しており、年中無休、24時間営業のところもある。野菜、果物類の購入はスーパーマーケットでも出来る。以下、ベオグラード市内の主な市場及びスーパーマーケット。

## &lt; 市場(ピヤツァ) &gt;

・Pijaca Zeleni Venac (ピヤツァ ゼレニ・ベナツ)

住所: Zeleni Venac b.b

・Pijaca Skadarlia (ピヤツァ スカダルリア)

住所: Skadarska b.b

・Pijaca Kalenic (ピヤツァ カレニッチ)

住所: Maksima Gorkog b.b

## &lt; 大型スーパーマーケット &gt;

・MERCATOR (メルカトール)

ウェブサイト: [www.mercator.rs](http://www.mercator.rs)

・IDEA (アイデア)

ウェブサイト: [www.idea.rs](http://www.idea.rs)

・MAXI (マクシ)

ウェブサイト: [www.maxi.rs](http://www.maxi.rs)

・TEMPO(テンポ)

ウェブサイト: [www.tempocentar.com](http://www.tempocentar.com)

何れも市内に複数の店舗を抱えており、祝日を除き年中無休で営業している。詳しくは、上記、各スーパーマーケットのウェブサイト以最寄り店を確認のこと。

### 4-3 食器、調理器具

#### (1) 食器、調理器具などの入手

大抵の調理器具は入手可能。ただし、炊飯器は入手しづらく、かつ性能を考えると日本から220V対応のものを持参することを勧める。食器は、セルビア製、イタリア製、中国製など、質も種類も多種多様なものが、前項の大型スーパーマーケットなどの食器売り場で入手可能。その他、次項5「生活用品の購入」で紹介されているショッピングセンターや家具屋でも購入が可能。

#### (2) 日本から持参したほうがよい食器、調理器具

箸(菜箸)、箸置き、おろし金、すり鉢とすりこぎ、包丁の砥石、湯豆腐すくい、など日本料理独自の調理器具。また各人の食生活を考慮した上で、和食中心の食事を多く取る場合は箸休め用の小皿、お茶碗、お椀、茶碗蒸し用の器、そばのせいの、そばつゆ入れ、など持参すると良い。

また、小型魔法瓶やお弁当箱などでキャラクターものは入手困難なので、子供を随伴して着任する時など、各人の生活スタイルに合わせ必要と判断する場合は日本から持参することを勧める。

## 5. 生活用品の購入 5-1 家電製品



以下の市内のショッピングセンターには、複数の家電製品を扱う店がある他、前項で紹介した大型スーパーマーケットの家電製品売り場にも一般的に必要な家電製品が比較的種類も豊富に取り揃えられている。

#### <ショッピングセンター>

・UŠĆE Shopping Centre (ウシュチェ ショッピングセンター)

住所: Bul.Mihajla Pupina 4. (JICA 事務所隣接の建物)

営業時間: 年中無休 10:00 ~ 22:00

ウェブサイト: <http://www.usceshoppingcenter.com/>

・DELTA CITY Shopping Centre (デルタ シティ ショッピングセンター)

住所: Jurija Gagarina 16

営業時間: 年中無休 10:00 ~ 22:00

ウェブサイト: [www.deltacity.rs](http://www.deltacity.rs)

### 5-2 家具

前項で紹介した大型スーパーマーケットの家具売り場では、机や本棚などが販売されている。また、ショッピングセンターの中に家具を扱う店舗も入っている。その他、以下に紹介するオーストリア系の家具店がベオグラード市内にあり、値段

も格安で、食器、調理器具、カーペット、リネン類などの購入も出来る。

< 家具店 >

・KIKA(キカ)

住所： Partizanske Avijacije 2a.

ウェブサイト： [www.kika.com/rs/filijala/m/kika-beograd/](http://www.kika.com/rs/filijala/m/kika-beograd/)

### 5-3 日用品、雑貨

前項4「食生活」を参照のこと。

### 5-4 工具、素材

前項で紹介した各店舗で小型電動工具から中型木工機械、溶接機、コンプレッサー、塗装用具などたいていのものは揃う。またベオグラード市内には家庭で必要とされる金づち、ペンチ、スクリュードライバー、釘、針金、ペンキ、ニスといった工具を販売している小規模な工具店を良く見かける。

材木屋も市内に多くあり、木材の加工などもしてもらえる。その他、木材は下記の日曜大工店でも扱われている。

< 日曜大工店 >

・MERKUR(メルキュール)

住所：ベオグラード市内に点在。最寄りの店舗を下記のウェブサイトで確認のこと

ウェブサイト： [www.merkur.eu](http://www.merkur.eu)

## 6. 金融機関



### 6-1 金融機関

(1) 銀行

外資系銀行がほとんどである。各銀行のATM機では、ビザなどの主要クレジットカードから現地通貨を引き出すことも可能。しかし、2011年6月時点でクレジットカード、及び海外銀行カードからの一日の引き出し限度額は3万5千ディナール(約3万5千円)となっている。(2011年6月時点)セルビア国内の口座から引き出す限度額はこの限りではない。

(2) 口座の開設と閉鎖

パスポートと警察に住居届け出をした時に渡される外国人登録書を持参し、口座開設及び閉鎖手続きを取る。口座の種類は、ユーロ、米ドル、現地通貨があるので、必要となる通貨で口座を開設する。

(3) 小切手

小切手の利用は一般的ではない。

#### (4)換金方法

両替所がいたるところにある。銀行、郵便局、ホテルでも両替は可能。レートは毎日変動し、店頭に表示されている。通常、ユーロと現地通貨の両替はこの両替所でも可能。その他、米ドル、スイスフラン、日本円などは両替所にもよるが換金可能。銀行でも両替所でも基本的にレートは変わらない。トラベラーズ・チェック(T/C)は一般的でなく、換金できる銀行が限られている。

## 6-2 クレジットカード

ホテルや商店では、一般的に主なクレジットカード(Visa, Master, American Express)の利用が可能。先述のように、各銀行のATM機よりこれらのクレジットカードを使用し現地通貨を引き出すことも可能。

## 7. 交通事情



### 7-1 交通手段

#### (1)一般事情

運転手付きレンタカーは一日 90 ~ 130 ユーロ程度。地方へ行く際には走行距離に応じて値段が変わる。タクシーは所定の場所で客待ちをしているもの、流しのももあわせて、容易に見つけれられる。概ね信頼できるが、以下のタクシー会社に電話して依頼するのが最も信頼できる。電話をすると、日本のようにタクシーの番号と到着時間を教えてくれ、大抵 2 ~ 5 分程でタクシーが到着する。運転手の多くは簡単な英語会話が通じる。鉄道駅周辺や空港の到着ロビーで客引きしているタクシーは概ね白タクなので、利用は避けること。

- ・Lux Taxi: (011)-303-3123
- ・Beo Taxi: 9801
- ・Pink Taxi: 9803
- ・Zuti Taxi: 9802

公共バスやトラムも数多く走っており利用可能。切符は統一されており、バスでもトラムでも使用できる。キオスクなどにて 1 枚 50 ディナール(2011 年 6 月現在)で購入出来る。車内で運転手から購入することも出来るがその場合は、1 枚 100 ディナール(2011 年 6 月現在)。また、切符は車内の改札機に自分で差込み、打刻する。トラムやバスを乗り換えた場合は、その都度、新たな切符で打刻をする。折々、検札官が車内を回って来るので、下車するまで破棄しないこと。尚、切符に打刻していないと罰金(3 千ディナール、2011 年 6 月現在)が課されるので注意すること。バス・トラムとも市内は基本的に全ての停留所に停車するが、運転は荒いことが多く、必ず吊り革などにつかまること。バス・トラムの路線図は、市内の観光インフォメーション・センターなどで配布されている。

### (2) 空港から市内への移動

到着ロビーで客引きを行っているのは全て白タク。メーター付きの通常のタクシーは到着ロビー階にある TAXI INFO カウンターで呼んでもらう。基本的に旧市街までは 1,500 ディナール(約 15 ユーロ)。また、ベオグラード市バス(72 系統)が 5:20 ~ 24:00 の間は毎 30 分ごとに旧市街付近のゼレニ・ベナツツまで出ている。乗車したバスの中で運転手に直接 100 ディナール支払ってバス券を購入する。

### (3) 自家用車を利用する場合

概して運転マナーは良いとは言えない。一般道路は舗装状態が悪いところもあり、陥没や凸凹があるので注意して運転する必要がある。11月1日～4月1日まではスノータイヤを必ず装着することが法律で定められているので、その時期はスノータイヤに換えるか、若しくは一年間対応できるユニバーサルなタイヤを使用する。

### (4) レンタカーなどを利用する場合

ホテルや空港にレンタカー会社の窓口がある。ベオグラード市内の主なレンタカー会社は以下のとおり。

・AUTO rent(アウト レント)

ウェブサイト: [www.carrental.rs](http://www.carrental.rs)

・AVIS (エイビス)

ウェブサイト: [www.avis.rs](http://www.avis.rs)

・BUDGET(バジェット)

ウェブサイト: [www.budget.rs](http://www.budget.rs)

・HERTZ(ハーツ)

ウェブサイト: <https://www.hertz.rs/>

### (5) 地図

市内の本屋、空港、鉄道駅周辺のキオスクでセルビア全土及び周辺国を含む道路地図やベオグラード市内地図が販売されている。市内地図には公共交通網も載っている。その他、ベオグラード市内の飲食店情報が掲載されている地図等、テーマ別の地図は本屋などで購入可能。また、ホテルでは、無料のベオグラード市内地図が配布されていることもある。

## 7-2 交通事故、盗難

### (1) 対処方法

事故を起こした場合、92番をダイヤルし直ちに警察へ通報。人身事故の場合は救急車を手配するため94番にも通報。現場を検証した警察が過失の有無を決定し、過失証明を作成する。通常、各車両は強制保険制度により、被害車両は保険の対象である。ただし、加害車両は保険対象ではないので、自動車運転を行うときは任意保険をかけておくほうが良い。また、各人が加入している保険会

社より事故証明の提出を求められた場合は、事故のあった地区の所管警察へ赴き、事故証明書をもらうこと。

#### (2) 救急病院

救急車が必要な場合は、94番をダイヤルし救急車の到着を待つ。もしくは、状況を説明し、救急病院を紹介してもらう。ただし、現地語での対応が予測されるので、24時間体制で英語での対応可能な以下の私立病院に連絡を取る事を勧める。

・Anlave Clinic (アンラヴェ クリニック)

住所: Mojora Branka Vukosavljevic 114, Beograd

電話: (011)-2271-944/ (011)-3175-929

ウェブ: <http://www.anlaveclinic.rs/>

救急車手配、往診可能。24 時間受付、外国への搬送手配可能

・Bel Medic (ベル メディック) [www.belmedic.rs](http://www.belmedic.rs)

住所: Viktroa Igoa 1(ベオグラード・サヤムの反対側)

電話: (011)-3091-000/(060)-309-1000/(065)-309-1000/(069)-309-1000

救急車手配、往診可能、24時間受付

#### (3) 車両の盗難、車上荒らし

車両盗難、車上荒らしともベオグラード市内では余りない様だが、路上駐車をする場合、カバンやコンピューター、カメラ、ゲーム機などは外から目の触れない様に、車のトランクなどに入れるほうが良い。また、カーステレオパネルは取り外し、座席下へ隠すなどの方が良い。

## 7-3 交通違反

#### (1) 交通法規

右側通行で、道路標識は日本とほぼ同じである。制限速度は市内50Km/h、学校周辺は40Km/h。高速道路では120Km/h制限速度が道路標識で表示されているので見落とさないように注意する。助手席のシートベルト着用は義務づけられており、後部座席でもシートベルトを着用している方が良い。尚、シートベルトが着用できない12歳未満の子供が乗車する場合には、後部座席にチャイルド・シートの着用が義務付けられている。

#### (2) 罰金、罰則

スピード違反、駐車違反、アルコール摂取0.3ml以上の飲酒運転、運転中の携帯通話、道路上の黄色車線(救急車、タクシー、路線バス用)の運転等に罰金が課される。なお前述した、冬季間(11月1日～4月1日)のスノータイヤに対応していない車両は罰金対象であることを留意する。交通違反の種類毎に違反点数が定められており、点数が18点に達すると1年間の免許停止処分となる。また、悪質な交通違反を犯した場合、禁固刑が科せられる場合がある。

## 7-4 車の修理

### (1) 部品

国産車、外国車問わず、ほとんどの部品の取り寄せは可能。ただし、在庫部品に限りがあるので、修理に時間を要する。

### (2) 修理工場

数多くあるが、技術に差がある。コミュニケーションの都合上、現地語が分かる人を随伴し作業を依頼した方が良い。また、可能な限り作業に立ち会うほうが誤魔化されずに要望どおり修理してもらえるので良い。

## 8. 通信



### 8-1 電話

#### (1) 一般事情

公衆電話の数が多くはないので、携帯電話を活用することを勧める。また、固定電話は通常、家を借りるときにすでに開通されているので、大家に固定電話の番号を確認すること。モジュージャックは日本と同じ形なので、日本で使用している電話機、ファックス機を使用することが可能。ただし、220V対応の機種もしくは変圧器を介して使用すること。

#### (2) 国内電話

固定電話から携帯電話にかけると、携帯電話間で通話するより割高になる。

#### (3) 国際電話

インターネット・プロバイダー会社との特約により、テレコム・セルビア(全ての固定電話番号を管理している元セルビア電電公社)の設定している国際電話料金よりも割安で国際電話をかけることが可能。なお、SEZAMPRO という海外へのコーリングカードもベオグラード市内のキオスクで販売されている。詳しくは [www.sit.rs](http://www.sit.rs) を確認のこと。

固定電話及び携帯電話からの国際電話のかけかたは国番号の前に 00 をダイヤルし、相手国の市外局番の 0 を除いた番号をダイヤルする。

(例:セルビア国内より日本のJICA本部へは、00-81-3-5226-xxxx)

#### (4) 携帯電話

携帯電話ショップがベオグラード市内に多くあり、普及している。プリペイドのSIMカードは、携帯電話ショップ以外でもキオスクや郵便局で購入することが可能。SIMカードを携帯電話にセットすることで利用可能になる。なお、SIMカードは海外で購入した携帯電話にセットすると使えるが、日本の携帯電話にはセットしても使えない。主な携帯電話ネットワークは次の通り。

- ・060、061 VIP(ビップ)
- ・062、063 Telenor(テレノール)
- ・064、065 Telecom Serbia m:ts(エムテーエス)

いずれも、携帯電話会社のシールや広告が張ってあるキオスクなどで口頭にて「XXディナールをこの番号へ入れてください。」と依頼し、相当分支払うと、即座に通信機から各携帯電話会社へ連絡され、携帯電話へSMSにて入金確認のメッセージが入る。時々通信状態が悪いときがあるので、入金確認メッセージが入らなかった場合は、その場でキオスクの店員に入金確認をすること。また、携帯番号をあらかじめ紙などに控えておいて、キオスク等の店員に提示すると番号の打ち間違いもないので良い。

なお、日本の携帯電話(ソフトバンク、NTTドコモ、AU)で日本国外使用の契約オプションをしている携帯電話は、ローミング料金が高いがそのまま使用することが可能。

## 8-2 電信

### (1) ファクシミリ

普及している。日本で使用しているファックス機を使用することが可能。ただし、220V対応の機種もしくは変圧器を介して使用すること。

### (2) テレックス

最近ではファクシミリ、電子メールへ替わり、一般的ではない。

### (3) 電報

郵便局より発出することが可能。

### (4) インターネット

普及している。先述したベオグラード市内の中級以上のホテルであれば、大抵は日本から持ち込んだパソコンで部屋から接続ができる。その他、ホテルのビジネスセンター、ベオグラード市内のインターネットカフェで接続が可能。地方の小都市のネット環境は未だに良いとは言えない。ワイヤレス接続用のインターネット・プリペイドカードなどは携帯電話会社の店舗で購入できる。主なプロバイダー会社は以下のとおり。

なお、家を借りるときは、すでにインターネットが接続できる状態になっていることが多いので、大家に確認すること。

・EUnet(イーユーネット)

ウェブサイト: [www.eunet.rs](http://www.eunet.rs)

・SezamPro(セザムプロ)

ウェブサイト: [www.sezampro.rs](http://www.sezampro.rs)

・BeotelNet(ベオテルネット)

ウェブサイト: [www.beotel.rs](http://www.beotel.rs)

・SBB(エスーベーベー)

ウェブサイト: [www.sbb.rs](http://www.sbb.rs)

## 8-3 郵便

### (1) 一般事情

セルビアから日本まで航空郵便で封書などを送付したときの日本までの所要日数は1週間～10日間程度。しかし、ハガキなどの簡単な郵便物以外の送付は、時間がかかり紛失することもあるので、EMS(航空便使用、エクスプレス・メール・サービス)などで出したほうが無難。EMSは日本まで4日ほどで着く。ただし、送り先国によってはEMS提携国でない場合もあるので、日本以外の国へ送付するときは郵便局の窓口で確認する必要がある。その他、船便、航空便がある。ただし、小包を送るときは、各郵便局で送付物を確認する担当者が梱包するので、封を開けた状態で持参すること。

日本からセルビアまでも、航空郵便で送付した封書は1週間から10日間程度で受け取ることが出来る。しかし、引っ越したばかりの場合などは住居の所轄郵便局へ引っ越し届けなどをするシステムが無い為に返送、破棄されてしまうことも多々ある為、郵便受けに自分の名前を明示する。日本からセルビアへは、EMSサービスは取り扱われておらず、船便、SAL便、航空便のみである。

### (2) 課税

日本から送付する物品が300ディナール(約300円)を超える場合は、いかなる物品でも課税対象になる。そのため、郵便局で税関告知書入手し、英語若しくはセルビア語で送付物品名及び相当額を記入し、送付荷物に添付のこと。税関告知書は各郵便局の窓口でもらえる。また、小包を受け取るときは、セルビアの税関から請求される税金をその場で郵便局員に払うか、指定された郵便局で支払う。なお、セルビアから海外へ送付する物品は課税対象外。

### (3) 国際宅配サービス

電話で依頼すると、数時間以内に業者が受け取りに来る。代表的な会社は以下のとおり。

- ・DHL  
電話: (011)-3105-500
- ・FedEx  
電話: (011)-3149-075
- ・TNT  
電話: (011)-3332-555
- ・UPS  
電話: (011)-2286-422

## 9. コンピューター



### 9-1 ハード、ソフト

#### (1) 調達の方法

電化製品を取り扱う店舗で様々な機種のパソコンを購入することは可能。値段も日本での値段とさほど変わらない。ただし、日本語仕様の機器は販売されていない。

#### (2) 使用の際の注意

ベオグラード市内においては、電圧も一定しているため、スタビライザーを通してパソコンを使用する必要は無いが、心配な場合はスタビライザーの使用をお勧めする。なお、インターネットの接続やUSBの使い回しによるウィルス感染が多々あるので日頃からウィルス対策を講じておく必要がある。

#### (3) 修理

日本語仕様のパソコンも基本的に修理を受け付けてくれるが、作業に立ち会う必要もある。コンピューター関係は若い世代が多く、修理に当たっては基本的に英語でのコミュニケーションが可能。

## 10. 職場環境、勤務条件



### 10-1 職場環境、勤務条件

#### (1) 就業時間

政府機関の就業時間は、通常8:00～16:00である。昼食は各人が適時とり、昼休みが定まっていないケースが多い。私企業の就業時間は企業により異なる。

#### (2) 有給休暇

公務員の場合、年間20日以上で勤続年数に応じた日数を取得できる。私企業の場合は、企業により異なる。

#### (3) 執務室

配属先により異なる。

#### (4) 通勤事情

バス、トロリーバス、トラムといった公共交通機関、もしくは自家用車かタクシーでの通勤が一般的。

## 11. 出入国手続き



### 11-1 入国

#### (1) 空港施設概要

ベオグラード市郊外のニコラ・テスラ空港が事実上唯一の国際空港となっている。到着ロビーと出発ロビーは同じ建物であり、空港内にはキオスク、土産屋、

両替所、レンタカー会社などの施設がある。出国ターミナルには、ラウンジのほか、喫茶店、免税店や土産屋があり、セルビアの特産物を購入することが可能。

#### (2) 入国手続き書類

日本国パスポート保持者は、種類にかかわらず滞在ビザなしで入国が可能。入国管理官(警察)へパスポートを提示するのみでよい。

#### (3) 入国審査

パスポートを提示した折に、滞在先や滞在理由を聞かれる場合もある。

#### (4) 税関検査

入国時に1万ユーロ相当以上の外貨または現地通貨を持ち込む場合は申告が必要。出国時に1万ユーロ相当以上の外貨を持ち出す場合は、入国時の申告証明書が必要となるので保管に注意する。

#### (5) 空港内での留意点

置き引き、すりの被害にあう可能性があるため、携行品の自己管理を行うこと。

#### (6) 出迎え

該当情報なし。

#### (7) 空港からの主な交通手段

到着ロビーで客引きを行っているのは全て白タク。メーター付きの通常のタクシーは到着ロビー階を出たところにある TAXI INFO カウンターで呼んでもらう。基本的に旧市街までは1,500~2,000 ディナール(約15~20ユーロ)。また、ベオグラード市バス(72系統)が5:20~24:00の間は毎30分ごとに旧市街付近のゼレニ・ベナツまで出ている。乗車したバスの中で運転手に直接100ディナール支払ってバス券を購入する。

#### (8) その他の留意点

ペットなどを連れてくるときは、あらかじめ使用航空会社に連絡をし、セルビア国の入国に必要な書類を確認すること。詳しくは、以下のウェブサイトを参照のこと。セルビアからの出国時も同様。

ウェブサイト: [www.beg.aero/passengers/travel/handling\\_of\\_live\\_animals.319.html](http://www.beg.aero/passengers/travel/handling_of_live_animals.319.html)

## 11-2 出国

### (1) 出国時の概要

ニコラ・テスラ空港では、地上階にチェックインカウンターがあり、荷物を預けた後、エスカレーターを上り出発ロビーへ向かう。手荷物の検査の後、出国審査を受ける。

### (2) リコンファーム

現在、多くの航空会社でリコンファームの必要はなくなっているが、悪天候によるフライトの変更が生じたとき等、必要に応じてリコンファームを行うこと。

## (3)チェックイン

チェックインはフライト予定時刻の1時間前まで。ベオグラード市街から空港までは通常、車で30分程要する。しかし、朝、夕方のラッシュ時は渋滞により1時間ほど要することに留意する。

## (4)空港利用税

2011年2月時点では、航空券に含まれているので払う必要はない。

## (5)その他の留意点

特になし。

**11-3 帰国手続き**

## (1)帰国時に必要な事務手続き

特別な手続きはない。

## (2)車の処分

免税で購入してから3年以内の場合、同じ権利を有する者にしか転売が出来ないことを留意すること。

## (3)家財道具の処分

知人に譲るもしくは自宅近くのゴミコンテナまで運び、廃棄する。セルビア国では不要になった家具や家電品はゴミコンテナの脇においておくと清掃車が一般ゴミと同じ扱いで収集する。

日本まで家財道具を送る場合は、航空貨物及び海上輸送の利用が出来る航空貨物は以下の引越し業者がルフトハンザ航空と連携してDoor to Doorサービスを行っており、海上貨物の取り扱いもある。

いずれも帰国に利用する航空会社が決まった時点で、ニコラ・テスラ空港のカーゴ部へ連絡し、各航空会社と連絡をとり、各航空会社が提携している引越し業者を紹介してもらうと良い。

<引越し業者>

・AGS(エージーエス社)

住所: Vlsnjcka 91. Beograd

電話: (011)-208-5917

E-mail: operations-belgrade@agsmovers.com

ウェブサイト: www.agsmovers.com

## (4)住宅の明け渡し

契約書内容により手順は異なる。家主へは通常、明け渡し1ヶ月前までにその旨を通達する。契約に応じて、家主ではなく、不動産会社の担当者に通達することもある。その後、明け渡しを行う日までにデポジットの返却交渉、備え付け家具等の状況確認など行う。

## (5)外貨持ち出し規制

外貨持ち出し制限はないが、入国時に1万ユーロ相当以上の外貨を持ち込

み、税関で申請を行った者は、申請時に渡された証明書を出国時に税関へ提出すること。

## 12. 治安、

### 緊急時の心得



生命・財産に直結することでもあり、治安・安全情報に関しては、各自の責任において最新かつ正確な情報を入手してください。

### 12-1 暴動、クーデターなど

#### (1) 一般事情

治安は概して良いが、デモ、サッカーの試合（特にベオグラード市内において）が行われている時は気をつける必要がある。デモなど計画的な集会の場合は、在セルビア日本国大使館より事前に注意情報が出るので、3ヶ月以上セルビアに滞在する者は、住居形態に問わず必ず在留届を大使館領事班担当者へ提出しておくこと。

#### (2) 対処法

近寄らない。特に前面には行かない。群衆に巻き込まれた場合は速やかに行き先を変えるなど臨機応変に対処しその場からいち早く離れること。決して写真やビデオ撮影等をしようと試みないこと。

### 12-2 強盗、盗難<sup>1</sup>

#### (1) 一般的治安状況

治安は概してよい。深夜遅くでも、女性が一人で町を闊歩している姿を良く見かける。ただしスリや置き引きに遭うケースもあるので、携行品の管理をしっかり行うこと。

#### (2) 住宅の防犯対策

集合住宅の場合、建物の入り口が鍵で閉まっても、自宅の玄関の鍵を必ず閉めること。

#### (3) 市中での防犯対策

スリや置き引きに遭わないよう、携行品の管理をしっかり行う。

#### (4) 注意すべき場所、危険地域

規則上、政府や軍の建物及び全ての在セルビア外国大使館の撮影は禁止されている。うっかり撮影をすると、警察署へ連行されることがある。

ベオグラード市内で言えば、ベオグラード駅周辺、小さな裏通り、混雑している市場（ピヤッツァ）などに注意。試合日のサッカー場、その周辺には立ち入らないこと。

日頃から新聞、テレビ、ラジオ、インターネット等を通じ安全に関わる情報に敏感になっておくことは大切である。

<sup>1</sup> 外務省海外安全ホームページ：[www.pubanzen.mofa.go.jp/info/info4\\_s.asp?id=175](http://www.pubanzen.mofa.go.jp/info/info4_s.asp?id=175)

#### (5) 被害時の心得

盗難にあった場合は、その地区の警察署で盗難届けを出す。事件に巻き込まれたときは、直ちに在セルビア日本国大使館領事班に連絡を取り、相談すること。

### 12-3 火災、風水害、地震

#### (1) 一般的災害発生状況

地方で、時折大雨、大雪による洪水が発生する。非常に稀だが、地震が起きることもある。

#### (2) 防災対策

日頃から携帯電話の充電をしっかりと行い、セルビア国日本国大使館の緊急連絡番号を登録しておく。

#### (3) 被災時の心得

被害を受けた場合は、以下の緊急連絡先へ直ちに連絡を取り、状況を報告し、指示を仰ぐこと。

### 12-4 緊急連絡先電話番号

・在セルビア国日本国大使館：(011)-3012 - 800

## 13. 社交



### 13-1 風俗習慣

セルビア人は基本的に土足での生活をしていないため、自宅に招かれた場合は、靴を脱ぎましょうかと尋ねると、好印象をもたれるケースが多い。

### 13-2 パーティーでの留意点

何事もレディーファーストであることに留意すること。

### 13-3 来客時の留意点

常識を持って対応すると良い。家の中では靴を脱ぐ習慣があるにも関わらず、訪問時には靴を脱がないセルビア人が多い中、各人の住居が必ず靴を脱ぐ環境の場合は、遠慮せずやんわりと伝えるか、スリッパを予め用意しておくと同様なく靴を脱いでくれる。

### 13-4 訪問時の留意点

自宅に招待された場合は、手土産を持参する。手土産は酒類、チョコレート、花束などが一般的である。

### 13-5 禁止されている言動(タブー)

特に1991年の旧ユーゴスラビア社会主義連邦共和国解体の理由や、民族間で紛争が起きた原因について等の話題を避けるほか、民族的、政治的な話も避ける。

### 13-6 日本人会

なし。

### 13-7 JICA帰国研修員同窓会

これまでに300人を超えるセルビアの研修員がJICAの研修事業を通じて日本へ行っている。2010年10月に同窓会が再結成された。

### 13-8 現地の人々との交流

親日的なセルビア人が多い。何らかの機会を知り合いになると、自宅に招かれたり、別荘に招かれたりすることもある。また、外食などに誘われ、食事をご馳走されることも多いが、経済水準が日本とセルビアでは大きく違う事を常に念頭に置き付き合うこと。また、親しくなると、金銭借用の話になったりすることもあるので、後々トラブルのないように、常識を持った交流を図ること。

## 14. 教育



### 14-1 教育事情

#### (1) 一般事情

小学校は8年制である。6歳から7歳の間に入学するのが一般的。入学する年度は、基本的に親子の意向と受け入れる学校の判断で決定される。小学校を卒業した後、3年制から4年制の高等学校に進む。小学校では外国語が必須科目となっており、英語を始めフランス語、ロシア語を選択する必要がある。高等学校は大学進学を希望する場合は、4年制のギムナジウム、若しくは専門学校に入学するケースが多く、3年制の学校を終えた場合は、1年間大学進学予備コースに通う必要がある。多くの大学が、欧州連合の教育スタンダード(ボローニャシステム)に則り、3年間で学士号が取得できる。その後、修士課程、博士課程と進む者もいる。

#### (2) 日本人学校

2011年6月の時点では休校されている。

#### (3) 現地校、外国人学校

ボイボディナ自治州では、セルビア語の他、クロアチア語、ハンガリー語、スロヴァキア語、ルーマニア語、パンノニア・ルシン語が公用語であるため、各言語で教育がなされている。なお、ベオグラード市内には英語をはじめ、イタリア語、口

シア語、フランス語、ドイツ語で教育が行われている複数の外国人学校がある。

<主な外国人学校>

・The International School of Belgrade

米国系、3歳～18歳まで

ウェブサイト: [www.isb.rs](http://www.isb.rs)

・British International School

英国系、3歳～18歳まで

ウェブサイト: [www.british-int-school.org.uk](http://www.british-int-school.org.uk)

・Chartwell International School

英国系、3歳～14歳まで

ウェブサイト: [www.chartwellinternational.org](http://www.chartwellinternational.org)

(4) 幼稚園

上記の学校に併設されている。詳しくは、各学校のウェブを参考のこと。

## 14-2 教育関係施設

(1) 図書館など

・ベオグラード市図書館

住所: Knez Mihailova 56

電話: (011)-2024 - 011

ウェブサイト: <http://www.bgb.rs/english/home.html>

月～金: 8:00～20:00、土: 8:00～14:00

## 15. 家庭の使用人



### 15-1 一般事情

現地で英語でのコミュニケーションが可能な家政婦を探すことは容易ではない。運転手やベビーシッターなど、若い世代であれば英語でのコミュニケーションは可能。現地の人材派遣会社もあるが、信用のおける使用人を見つけるには、前任の雇っていた人や、知人などに身元のしっかりした人を紹介してもらっても良い。

### 15-2 運転手

(1) 雇用

前任者等に紹介してもらうのが無難。紹介されなかったときは、運転手希望者の履歴書や推薦状で人物の経歴、語学能力などを確認し、面接を行い人柄、車の維持管理に関する知識、運転技量などを確かめる。採用する場合は、口頭契約の場合も多いが、何らかのトラブルが発生した時を考慮し、現地語及び英語で待遇、条件および要求事項を記した契約書を作成するのも良い。通常、勤務

セルビア 27

は月～金曜とし、勤務時間や給与額は契約を結ぶときに当事者と話し合う。

給与の相場は月400ユーロ程。運転手の長期休暇は、基本的に雇用主の休暇にあわせて運転手も取る。

#### (2) 運転管理

出勤管理、走行管理、燃料管理などは、運転日誌を設けて運転手が記入することとし、毎回車を使用した都度、雇用者が署名確認すると良い。

#### (3) 日常管理

乗車していて、整備不備などに気づいたときは直ぐに注意したほうが良い。一般的に、セルビア人はプライドが高く、自分の運転方法や、こちらの指示に対して反論してくる人など多いが、その都度冷静に話し合いを行うことが良い。

#### (4) その他の留意点

特になし。

### 15-3 家政婦 / 夫

#### (1) 仕事の種類と人数

仕事の種類は特に定めず、料理、皿洗い、洗濯、掃除、ベビーシッターなど家庭の全般的な仕事を依頼することが出来る。一方、雇用時にどの種類の仕事をするか話し合い、仕事の種類を特定することも可能。

#### (2) 雇用

前任者に紹介してもらるのが無難。ベビーシッターなどは、現地の派遣会社から紹介してもらうことも可能。主に掃除、洗濯などをしてくれる家政婦で英語に堪能な者は少ないが、片言の英語での会話は概ね可能。ベビーシッターは、主に若い世代が多いので、英語での会話は可能。いずれも、家の鍵を預けたり、子供を預けたりする人なので、身元の保証が取れる人を雇用する必要があり、雇用面接の際には履歴書、推薦状などを持参してもらい、即答せず後日連絡をするという形をとると良い。

雇用するに際して、現地語及び英語で雇用する側の条件、待遇、要求事項を記した契約書を用意しておいた方が良い。毎日家政婦を使用するケースも有るが、週に数回とパートタイムで使用しているケースが多い。

給与の相場は週に数回使用するケースで月300ユーロ程。

#### (3) 日常管理

不手際が生じた場合は、その場で注意することが必要。言葉が伝わらないなど、躊躇する必要は無い。また、お互い気持ちよく雇用関係を続ける上で、貴重品などは目の付かない場所に保管しておく方が良い。万一、家の中の物が消失した場合は、尋ね方に注意を払いながらも直ぐに尋ねる必要がある。

## 15-4 庭師、ガードマン

必要に応じて、家主が庭などの手入れを行う。ガードマンが常駐の集合住宅もある。

## 16. メディア



### 16-1 新聞、雑誌

#### (1) 現地発行の日刊紙

街角のキオスク、スーパーマーケットの雑誌売り場で大衆紙から専門紙まで購入が可能。

#### (2) 日本の日刊紙

朝日新聞、毎日新聞、日本経済新聞、読売新聞といった主な日刊紙は欧州各地にある新聞代理店と契約を結ぶ必要がある。しかし、配達には2～3日ほどかかる為、当日の日刊紙はセルビアでは入手できない。以下、主な新聞代理店の連絡先。

・OCS

ウェブサイト: [www.ocs-de.com/jstv.htm](http://www.ocs-de.com/jstv.htm)

・日経ヨーロッパ

ウェブサイト: [www.nikkeieu.com](http://www.nikkeieu.com)

・読売ヨーロッパ

ウェブサイト: [www.yomiurieurope.com](http://www.yomiurieurope.com)

#### (3) 欧米紙 / 誌

日刊紙をはじめ週刊誌及び月刊誌は大抵のものの購入が可能。街角のキオスクやスーパーマーケットの雑誌売り場では英語、ドイツ語、イタリア語、ハンガリー語の雑誌が置いてある。また以下の代理店を経由して購入することも可能。

・グローバル・プレス

ウェブサイト: [www.globalpress.rs](http://www.globalpress.rs)

#### (4) 日本の雑誌、書籍

セルビア国内では購入が出来ない。但し、日本をはじめイギリスやドイツの日本商品の海外配達サービスを行っている店を利用して入手することは可能。但し、セルビアでは荷物の中身が300RSD(約300円)以上の価値が有る場合は、課税対象になる事を留意すること。課税は荷物を受け取るときに郵便局内に併設されている税関へ支払う。

・海外オンライン

ウェブサイト: [www.kaigaionline.com/book](http://www.kaigaionline.com/book)

・OCS

ウェブサイト: [www.ocs.co.jp/index.html](http://www.ocs.co.jp/index.html)

・海外発送

ウェブサイト: [www.kaigaihassou.com](http://www.kaigaihassou.com)

## 16-2 ラジオ

### (1) ラジオ放送局

セルビア国営放送が2チャンネルある他、地域のFMチャンネルが複数ある。放送使用言語も、セルビア語が主だがボイボディナ自治州の公用語であるクロアチア語、ハンガリー語、パノニア・ルシン語、ルーマニア語と様々である。

### (2) NHKワールド・ラジオ日本(ラジオジャパン)

ラジオジャパンはヨーロッパ周波数で聴取可能である。周波数、番組等は以下のウェブサイトを確認のこと。

ウェブサイト: [www.nhk.or.jp/nhkworld/japanese/top/index.html](http://www.nhk.or.jp/nhkworld/japanese/top/index.html)

### (3) 聴取可能なその他の外国放送

クロアチア、ボスニア・ヘルツェゴビナなど隣国の放送は聴取可能。

## 16-3 テレビ

### (1) 地上波放送局

セルビア国内チャンネル、外国チャンネルなど複数ある

### (2) 衛星放送、ケーブルテレビなど

プロバイダーによりチャンネル数など異なるが、ケーブルテレビに加入することでBBCやCNNなどの英語ニュースも視聴できる。また、NHKワールドも独自のケーブル会社と契約すると視聴が可能になる。詳しくは、以下のウェブサイトを参照のこと。

ウェブサイト: [www.nhk.or.jp/nhkworld/japanese/top/index.html](http://www.nhk.or.jp/nhkworld/japanese/top/index.html)

### (3) テレビ受信

ケーブルによる受信が一般的であり、アンテナによる受信は少ない。通常、貸家に備わっており、ケーブルテレビ受信料なども賃貸に含まれているケースが多い。賃貸契約を結ぶときに、家主に確認すること。以下、主なケーブルテレビ会社の連絡先。

・SBB

ウェブサイト: [www.sbb.rs](http://www.sbb.rs)

## 17. スポーツ、 趣味、語学学習



### 17-1 スポーツ

#### (1) ゴルフ

・Golf Club Beograd

ウェブサイト: <http://www.golfclub.co.rs/en/>

#### (2) テニス、フィットネス

・TENISKI KLUB UŠĆE

ウェブサイト: [www.tcusce.rs](http://www.tcusce.rs)

#### (3) その他のスポーツ

サッカー、テニスなどいたるところで盛んに楽しんでいる一方、観戦も楽しめる。ただし、サッカー場は過激なサポーターが多々居るので安全面を考慮するとスタジアムでの観戦は勧めない。サイクリング、乗馬、スキー、水泳、カヌーなども楽しむことが出来る。

### 17-2 趣味

ベオグラード市内を流れるドナウ川、サバ川で釣りが出来る。釣り人口は多く、釣り道具を売っている小型のスタンドが川岸付近などにある。また、ベオグラード市内には釣り道具店もあり、基本的な釣り道具の購入には問題がない。

ヨガ教室や多様なダンス教室もベオグラード市内では多く見かける。大抵、基本的な英語が通じるので直接問い合わせてみると良い。

アバラ(AVALA)と呼ばれる標高511mの山がベオグラード市内より18Kmのところであり、週末など家族連れで散策をする人々で賑わう。

また、各国の狩猟免許証を所持している者は、免許証持参でセルビアの旅行会社が企画している狩猟ツアーに参加することが出来る。狩猟道具一式貸し出し(狩猟犬込み)、ガイド付きのツアーがポピュラー。狩猟季節は特に法律で定められていないが、秋から冬にかけての季節が主である。

10月～6月にかけて、国立劇場ではオペラ、バレエ、コララツ・ホールではベオグラード・フィルハーモニー管弦楽団のコンサート、テラジエ劇場ではミュージカルが楽しめる。その他、通年で、サバ・センターやベオグラード・アリーナで海外のアーティストによるコンサートも頻りに開かれている。

### 17-3 語学学習

#### (1) 語学学習施設

セルビア語が学べる学校はベオグラード市内に複数ある。また、フランス語、スペイン語、ドイツ語など外国語を学べる学校も複数ある。以下は、ベオグラード市内の主な語学学校。

・Inlingua Beograd(インリングア ベオグラード)

ウェブサイト: [www.inlingua-beograd.com](http://www.inlingua-beograd.com)

・Kolarac(コララツツ)

ウェブサイト: [www.kolarac.rs](http://www.kolarac.rs)

## (2) 家庭教師

前任者や現地職員に尋ねると良い。ベオグラード大学の日本語学科の卒業生や学生がセルビア語の家庭教師を務めているケースが多い。相場は2時間千ディナール程(約千円程)

## 18. 観光



### 18-1 地方旅行の留意点

地方都市に行くと、英語が通じないことが多いため注意が必要。

### 18-2 主要観光地・保養地

ローマ時代の歴史的な遺跡やセルビア正教の修道院が各地にある。その他、ナイーブアートで有名なコバチツァ村や、ボイボディナ自治州の州都であるノヴィ・サドが観光地として有名。詳しくは、セルビア観光局や在日セルビア大使館のウェブサイトなど参照のこと。

・セルビア観光局

ウェブサイト: <http://jp.serbia.travel>

・在日セルビア大使館

ウェブサイト: [www.serbianembassy.jp](http://www.serbianembassy.jp)

### 18-3 旅行代理店

概ね英語でコミュニケーションが図れる。旅行代理店は多くあるので、旅行を決めたときには複数の代理店を訪ね、価格、サービスを比較しても良い。以下は、ベオグラード市内の主な旅行代理店。

・Kontiki Travel (コンチキ トラベル)

ウェブサイト: [www.kontiki.rs](http://www.kontiki.rs)

・Kompas (コンパス)

ウェブサイト: [www.kompas.rs](http://www.kompas.rs)

・Glob Metropolitan Tours(グローブ メトロポリテン ツアー)

ウェブサイト: <http://www.travelserviabelgrade.com/>

## 19. 私財の輸送、 引き取り、購入



### 19-1 家財道具

#### (1) 輸送会社

日本を含む外国からセルビアへ輸送する場合は、家財道具を送る国の運送会社が手配したセルビアの運送会社が輸入手続まで全て行う。セルビアから日本に輸送する場合も、現地の運送会社が手配した日本の運送会社が輸入手続まで全てを行う。なお、双方とも航空コンテナ便、海上コンテナ便のサービスが受けられる。

・HUB Dunav d.o.o

ウェブサイト: [www.hapag-lloyd.com](http://www.hapag-lloyd.com)

#### (2) 輸入手続

輸入手続は輸送会社が一貫して行うが、荷物の引取りに際し、身分証明などを通関から要求される。必要な文書は輸送会社より指示があるので、それに従い用意すること。

#### (3) 輸入貨物の受け取り港

航空コンテナはベオグラードのニコラ・テスラ空港。海上コンテナ便の場合は、ドナウ川のベオグラード港、若しくはドイツのハンブルク港、ギリシャのアテネ港、オランダのロッテルダムなどで陸揚げされ陸路でセルビア国入りする。

### 19-2 自動車

#### (1) 一般状況

日本車を含む多くの車種の購入が可能。

#### (2) 輸入手続

日本から輸入をする場合は、輸送会社を通して相談する。

#### (3) 現地での購入

代理店に注文して購入するのが最も一般的。中古車を購入する場合も、強制保険、サービス、メンテナンス、帰国時の買取りなどを考慮すると、中古車販売店を経由して購入した方が良い。その他、現地の広告新聞(Halo Ograsi)の中古車販売の欄などがある。

#### (4) 自動車登録

手続、車両登録、ナンバープレートの取得などは購入先のディーラーに確認する。

#### (5) 免許証取得

短期的には、1年間有効の日本の国際免許証で運転が可能。1年以上滞在する場合は、一時帰国した折に国際免許証を新たに取得する必要がある。なお日本を含む外国の運転免許証からセルビアへの運転免許証への切り替えも現地で可能。

#### (6) 保険、税金

車両登録の際に強制保険に加入しなければならず、毎年1度保険料を支払う必要がある。なお、この強制保険は第三者保険なので、運転手や自車に保険をかける場合はオプションを付けるか、以下の総合保険会社等で改めて保険に入ること。

・UNIQA(ユニカ)

ウェブサイト: [www.uniqa.rs](http://www.uniqa.rs)

・DUNAV(ドゥナウ)

ウェブサイト: [www.dunav.com](http://www.dunav.com)

・DELTA(デルタ)

ウェブサイト: [www.deltagenerali.rs](http://www.deltagenerali.rs)

・DDOR NOVI SAD(ドゥドゥオーアール・ノヴィ サド)

ウェブサイト: [www.ddor.co.rs/en](http://www.ddor.co.rs/en)

## 20. 地方都市



セルビア共和国は、中央セルビアとボイボディナ自治州によって構成されている。詳しくは、18項「観光」で紹介したセルビア国観光局ウェブページを参照に、各地方都市を訪れると、各地方の特色がより把握できる。